

# がん手術延期 支援冊子

## 産業医大 合併症防ぐ情報など

産業医科大(北九州市八幡西区)は、新型コロナウイルスの影響で手術が延期となったがん患者向けに、延期期間中の過ごし方や術

後の合併症リスクを減らすために患者自身ができる取り組みを紹介する冊子を作成し、同大のホームページで公開している。

コロナ感染者を受け入れている病院は、病床数を確保するために入院を制限しているところがある。また、感染者が出た病院は全ての外来受診や入院が中止される場合もあり、コロナの影響による通常診療の遅れが懸念されている。

特に手術が延期になるなどしたがん患者は、精神的なショックで食欲や外出する機会が減り、栄養状態の悪化や体力の低下で術後の合併症による死亡リスクが

高くなる。このため、同大はがん患者を支援する取り組みとして、インターネットで寄付を募るクラウドファンディングで冊子の制作費など約240万円を募り、10月から公開を始めた。冊子では、手術に向けて身体機能を改善するために自宅でできる筋力トレーニングや体幹を鍛える運動、たんばく質摂取に重点を置いた食事メニューなどを紹介。歯周病チェックなどの口腔ケアや腸内環境改善など、合併症を防ぐための情報も盛り込んでいる。

同大ホームページでは、動画でも冊子の内容を紹介しており、同大の担当者は「がんと告知された患者さんがショックから立ち直り、前向きに手術に向かう一助になればうれしい」と話している。



産業医科大のホームページで公開されている冊子